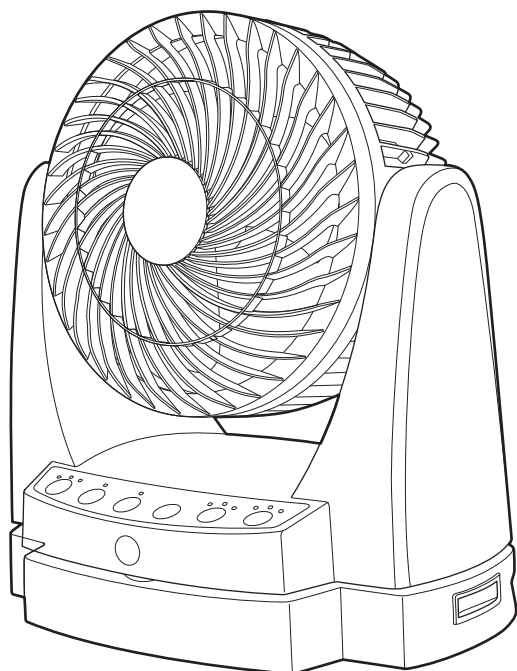


## DCサーキュレーター FCU-190D

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られるように大切に保存してください。



#### も く じ

安全上のご注意	.....P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	.....P3
正しい使いかた	.....P4 ~ P8
お手入れと保存	..... P9 ~ P10
修理・サービスを依頼する前に	..... P11
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	... P14
アフターサービスについて	.....裏表紙
保証書	.....裏表紙



### 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	17W 50/60Hz
電源コード長さ	約 1.6 m
外形寸法	約 幅 33 × 奥行 21 × 高さ 37 cm (本体のみ・リモコン含まず)
質 量	約 2.4kg (本体のみ・リモコン含まず)



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)






## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	前ガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後や組み立ての際、ガードをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。			
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		

# ⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 禁止	ガードの中やモーター部に指などを入れない。 けがの原因になります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		
 禁止	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因になります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。	 禁止	次のようなところでは使わない。 ●コンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。		
	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		
	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になります。		首ふり動作中のサーキュレーターを無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になります。		

# 各部の名称とはたらき

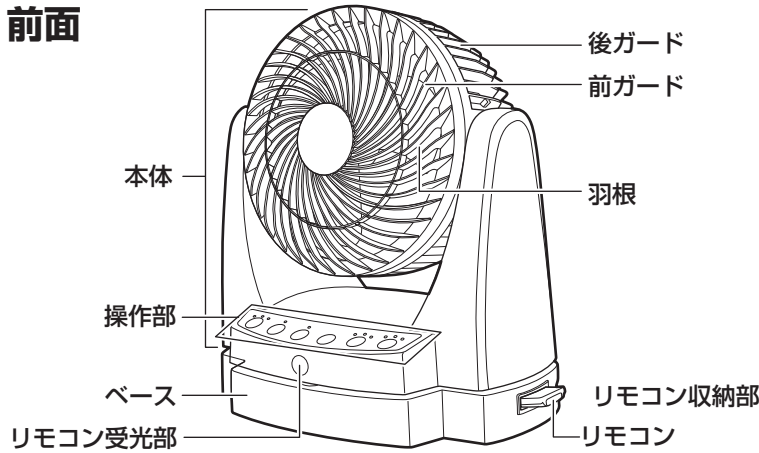
## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

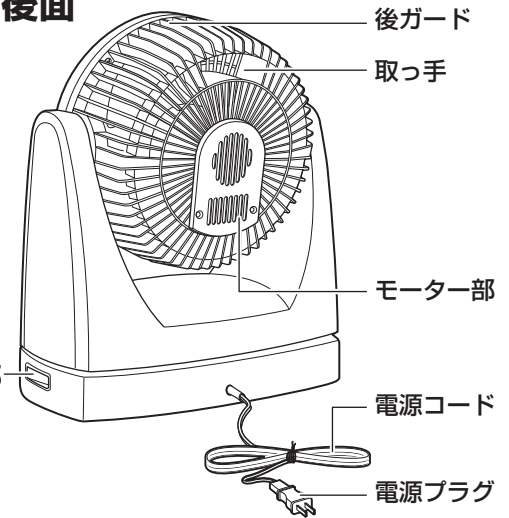
本体.....	1 個	コイン形リチウム電池 (CR2025).....	1 個
リモコン.....	1 個	取扱説明書 (保証書含む).....	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

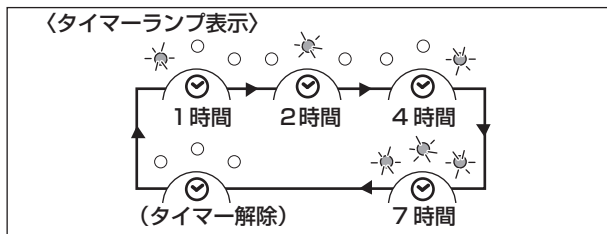
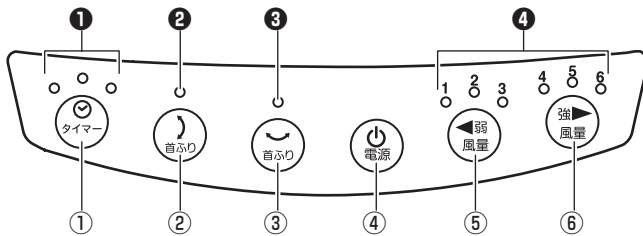
## 前面



## 後面

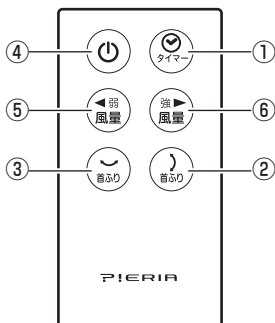


## 操作部



- ① **タイマーランプ**  
タイマーがはたらくまでの時間を表示します。  
(下記の〈タイマーランプ表示〉参照)
- ② **上下首ふりランプ**  
上下首ふりをしているときに点灯します。
- ③ **左右首ふりランプ**  
左右首ふりをしているときに点灯します。
- ④ **風量ランプ (1(弱)～6(強))**  
現在設定されている風量を表示します。

## リモコン



- ① **タイマーボタン**  
入タイマー・切タイマーを設定します。
- ② **上下首ふりボタン**  
上下首ふりを入切します。
- ③ **左右首ふりボタン**  
左右首ふりを入切します。
- ④ **電源ボタン**
- ⑤ **風量弱ボタン**  
風量を1段階弱く設定します。
- ⑥ **風量強ボタン**  
風量を1段階強く設定します。

# 正しい使いかた

## 使用前の準備

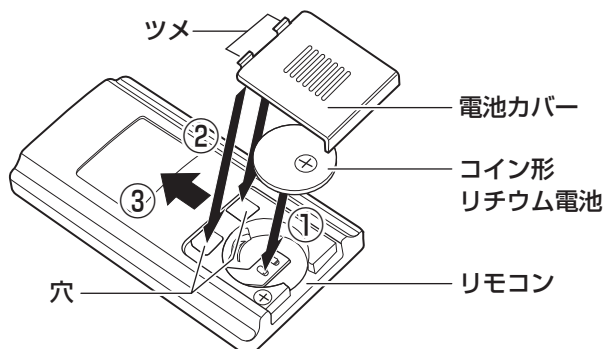
### リモコンに電池を入れる

#### 1. リモコンの電池カバーをはずす

リモコンの裏面に電池カバーがあります。

#### 2. 手順に従って電池を入れます

- ① コイン形リチウム電池のプラス面を上にして、電池を入れます。
- ② 電池カバーの上側のふたつのツメをリモコンのふたつの穴に入れます。
- ③ そのまま電池カバーを上側にスライドさせて電池カバーを固定させます。



#### 使用可能範囲

- 本体リモコン受光部正面から直線で約5m
- 本体リモコン受光部正面から左右に約30度
- リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

## 本体の設置

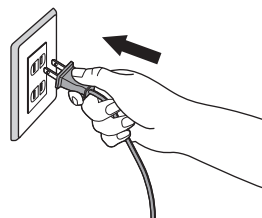
#### 1. 本体を安定した水平な場所に設置する

お手入れで前ガードを取りはずした場合、前ガードが正しく取り付けられていることを確認してください。



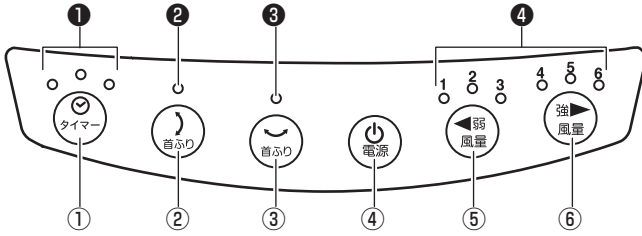
**警告** 前ガードを取り付けずに運転をさせない。  
事故・故障の原因になります。

#### 2. 電源プラグをコンセントに差し込む

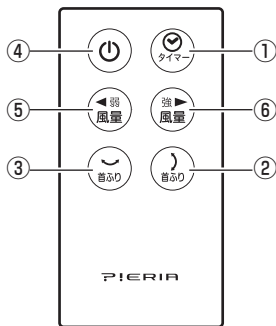


# 正しい使いかた (つづき)

## 本体操作部



## リモコン



- ① **タイマーランプ**  
タイマーがはたらくまでの時間を表示します。
- ② **上下首ふりランプ**  
上下首ふりをしているときに点灯します。
- ③ **左右首ふりランプ**  
左右首ふりをしているときに点灯します。
- ④ **風量ランプ (1(弱)～6(強))**  
現在設定されている風量を表示します。
- ① **タイマーボタン**  
入タイマー・切タイマーを設定します。
- ② **上下首ふりボタン**  
上下首ふりを入切します。
- ③ **左右首ふりボタン**  
左右首ふりを入切します。
- ④ **電源ボタン**
- ⑤ **風量◀弱ボタン**  
風量を1段階弱く設定します。
- ⑥ **風量強▶ボタン**  
風量を1段階強く設定します。

## 運転を開始／停止する

### 1. 運転を開始する

本体またはリモコンのⓄ電源ボタンを押してください。

- ・電源プラグをコンセントにつないで初めての運転では、風量1・首ふりなしで運転を開始します。
- ・それ以外のときは、前回運転を停止した風量・首ふり状態で運転を開始します(→メモリー機能)。

### 2. 風量を調節する

風量は6段階に設定することができます。本体またはリモコンの(風量)風量強▶ボタン、(風量)風量◀弱ボタンで調節することができます。

- ・(風量)風量強▶ボタンで1段階強くします
  - ・(風量)風量◀弱ボタンで1段階弱くします
- 風量は本体の風量ランプで確認できます。

### 3. 運転を停止する

本体またはリモコンのⓄ電源ボタンを押してください。

### 4. 電源プラグをコンセントから抜く



**警告**  
使用後は電源プラグをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

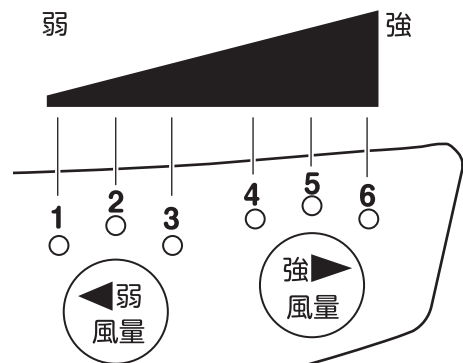
## メモリー機能

本体またはリモコンのⓄ電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます(風量、左右首ふり、上下首ふり)。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量: 1、首ふり: なし。

〈風量のイメージ〉



※イメージであり、実際の風量を示したものではありません

## 首振り運転を開始／停止する

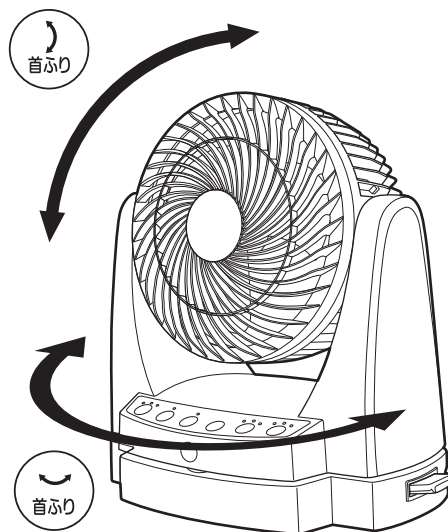
### 1. 首振り運転を開始する

運転中に本体またはリモコンの(26) 上下首振りボタンを押すと上下に、(27) 左右首振りボタンを押すと左右に、首振り運転を開始します。

- 上下・左右同時に首振り運転させることが可能です。
- 本体の[上下首振りランプ][左右首振りランプ]で首振り運転の確認をすることができます。
- 首振り運転中に電源を切ると、再度電源を入れて運転を開始したときに首振り運転の設定が継続されます（コンセントから電源プラグを抜いた場合を除く）。

### 2. 首振り運転を停止する

再度、本体またはリモコンの(26) 上下首振りボタン・(27) 左右首振りボタンを押すと首振り運転を停止します。



**注意** 首振り動作中に無理に向きを変えない。

無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になります。

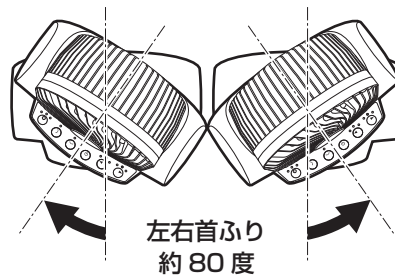
## 角度の調節

本機は手動で角度を調節することができません。電源を入れて、首振り運転機能で上下左右の角度調節をして、適切な風向きにしてください。

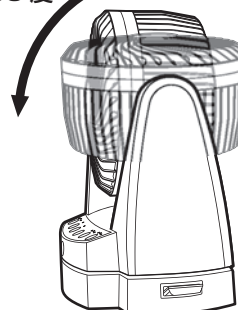


**注意** 手動で角度調節をしない。

無理に角度調節をすると、故障の原因になります。



上下首振り  
約90度



# 正しい使いかた（つづき）

## タイマーを設定する

### 切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

#### 1. 運転中に $\odot$ タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。

切タイマーの動作時間は本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- ・タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

#### 2. 切タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

## 入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。



注意

入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。

子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

#### 1. 運転が停止している状態で、 $\odot$ タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点滅し、入タイマーが設定されます。

- ・直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→5ページ）。

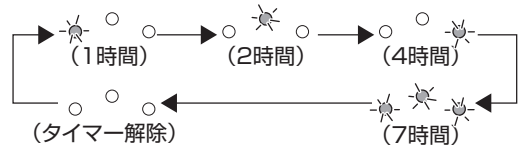
入タイマーの動作時間は $\odot$ タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

## タイマーランプについて

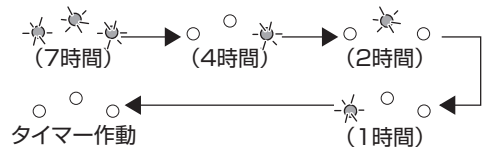
### 切タイマー・入タイマー共通

タイマーランプは、本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。







※タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンをタイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。





## 2. 設定した時間に運転する風量などを設定する


- 本体またはリモコンの  風量強 ▶ ボタン、  
 風量 ◀ 弱ボタンを押して、設定した時間に  
運転する風量を設定します。
-  上下首振りボタン、 左右首振りボタンを  
押して、設定した時間に運転する風を設定  
することができます。
- 設定は、ランプの点滅により確認できます。

### 切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運  
転すると、運転を自動的に停止します。

運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経  
過すると、運転を停止します。

## 3. 入タイマーをキャンセルする

- 本体またはリモコンの  タイマーボタンを何回  
か押してタイマーランプを消灯させます。
- 設定は、ランプの点滅により確認できます。

# お手入れと保存



**警告** お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

## お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

## 前ガードの取りはずしかた

本体のガード内部の汚れは、前ガードを取りはずして行ないます。

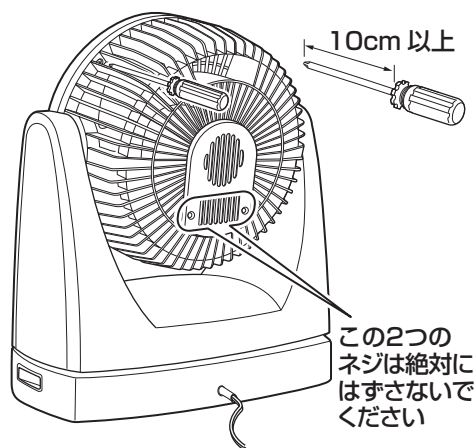
※ 前ガードを取りはずす前に必ず電源プラグをコンセントから抜く。

※ 本機の羽根は取りはずすことができません。



**注意** 前ガードの取りはずしには、長いドライバー(細い部分が10cm以上)を使用する。短いドライバーではガードの間を通すことができず、十分にネジをまわすことができません。

- ① 後ガードに4つの取り付け用のネジがあります。それをお手持ちの長めのドライバー(ガードの間を通る細い部分が10cm以上)を使用して取りはずしてください(はずしたネジを紛失しないように注意してください)。
- ② 4つのネジをはずしたあと、後ガードを押さえ、前ガードを手前に引いて取りはずしてください。




## 組み立てかた


①前ガードと後ガードのマーク（▲・▼）を右の図のように合わせ、全体的にそのまままっすぐ押し込みます。

（後ガードのマークの下には「みぞ」があり、前ガードには「ツメ」があります。これを組み合わせるように押し込んでください。）

②前ガードと後ガードの間にすき間がないことを確認し、後ガードから4か所にネジをお手持ちのドライバーで取り付けてください。

※強くしめすぎると、ネジ穴を破損させる恐れがありますのでご注意ください。

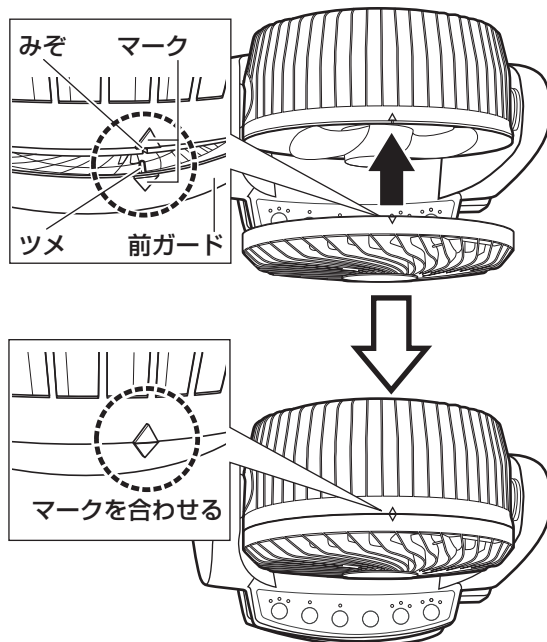
 <b>警告</b>	前ガードを取り付けずに運転をしない。 事故・故障の原因になります。
--	--------------------------------------

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>前ガードをネジでしっかりと固定してから電源プラグをコンセントに差し込む。</li><li>羽根のエッジ等でけがをしないよう、十分に注意してください。</li></ul>
--	--

## 保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱に入れるとき、前もって首ふり機能で上を向くように調節しておく必要があります。

〔拡大図〕



# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
羽根がまわらない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
運転時に大きな音がる	・前ガードが正しく取り付けられていない	前ガードを正しく取り付け（「組み立てかた」(10ページ) 参照）
手動で角度を調節できない	・本機は、手動で角度調節をすることができません	首ふり機能を使って角度調節をする
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形リチウム電池を正しく入れる（「リモコンに電池を入れる」(4ページ) 参照）

## 長年ご使用のサーキュレーターはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。


# MEMO

# MEMO

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## (本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## (設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

## ■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

### ●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

故障・修理についてのご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャお客様相談室

**☎0120-104-481**

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0857 福井県越前市四郎丸町52-5

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社ドウシシャ

[www.doshisha.co.jp](http://www.doshisha.co.jp)